

# 微酸性電解水(次亜塩素酸水)生成器 ハイジヨキンⅡのご提案



ハイジョキンⅡとは



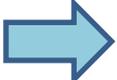
水道水に電解補助剤(希塩酸・食塩)を添加し、電気分解し微酸性電解水(次亜塩素酸水)を生成する装置です。



微酸性電解水(次亜塩素酸水)は、厚生労働省が、**安全でかつ殺菌効果が高い**除菌水として2002年6月に食品添加物殺菌料に指定しています。

(官報 第3378号 厚生労働省告示 第212号)

## 微酸性電解水(次亜塩素酸水)が感染対策に最適な理由

- **安全で多用途**(空間噴霧・口腔衛生・手洗い・物品洗浄・消臭)  
だから感染対策の範囲が広がりその強化につながります。
- 希釈や濃度調整は不要です。  
 水道水のように扱えて簡単で**手間なし**です。
- 人の肌とほぼ同じ微酸性(ph5.0~6.5)で手荒れの心配がなく**安心**。
- 1Lあたり3~4円で、とっても**経済的**です。

## ハイジョキンⅡが選ばれる理由

- **高濃度** (30ppm～50ppm) が生成でき高度除菌力を発揮します。
- 必要な時に必要な量の次亜塩素酸水を即座に生成できます。
  - ・水道水の蛇口に手をかざすようにセンサーに手をかざすだけ。
- **塩を少なくした**電解補助液(希塩酸)も使用でき、超音波加湿器で噴霧しても白い粉は殆ど出る事なく電子機器のトラブルの心配はありません。
- **多くのエビデンス**があります。
  - ・新型コロナの不活化試験で有効性が確認済み  
(2020年5月 北海道大学にて実施)
  - ・ノロウイルスやインフルエンザでも有効性確認済み
- **多数の導入実績**があります。
  - ・病院、介護施設、障害者施設・保育園等、西日本だけでも500以上の事業所様でご利用頂いております。
  - ・(一般)北里環境科学センターでも採用されています。

## 微酸性電解水(次亜塩素酸水)の有効性は、

方法	モノ	手指	現在の市販品の薬機法上の整理
水及び石鹼による洗浄	○	○	—
熱水	○	×	—
アルコール消毒液	○	○	医薬品・医薬部外品(モノへの適用は「雑品」)
次亜塩素酸ナトリウム水溶液 (塩素系漂白剤)	○	×	「雑品」(一部、医薬品)
手指用以外の界面活性剤 (洗剤)	○	— (未評価)	「雑品」(一部、医薬品・医薬部外品)
<b>次亜塩素酸水 (一定条件を満たすもの)</b>	<b>○</b>	<b>— (未評価)</b>	<b>「雑品」(一部、医薬品)</b>
亜塩素酸水	○	— (未評価)	「雑品」(一部、医薬品)

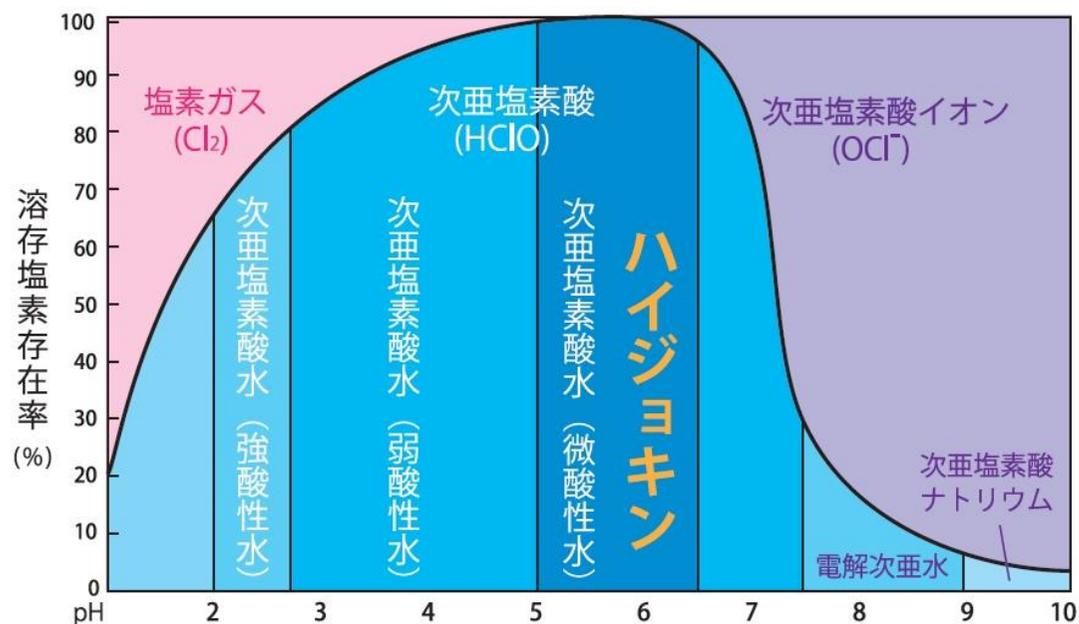
新型コロナウイルスについて(厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ)、より引用

微酸性電解水(次亜塩素酸水)の除菌パワーの源は、

**次亜塩素酸(HClO)の残存比率**です。

下のグラフは、水中の次亜塩素酸比率を示しております。

ハイジヨキンが生成する微酸性次亜塩素酸水は次亜塩素酸の残存率が最も高く、強酸性次亜塩素酸水や弱酸性次亜塩素酸水、さらに次亜塩素酸ナトリウム溶液と比較と比べても除菌力に優れていると言えます。



微酸性電解水(次亜塩素酸水)の殺菌主成分は、

**次亜塩素酸(HClO)**です。

次亜塩素酸(HClO)は、細菌を退治する為にヒトの体内でも白血球によって作られています。

白血球は「酸素」を使い「スーパーオキシド」と言われる「活性酸素」をつくりだし、そこからさらに生成される「次亜塩素酸」を使って細菌やウイルスを攻撃しています。

つまり、**人の体内でも作られている安全な殺菌成分**であります。

## 微酸性電解水(次亜塩素酸水)の特徴は、

- 即効性に優れ、次亜塩素酸ナトリウムの約80倍の除菌力です。
- 経済産業省所管の独立行政法人であるNITEは、「電気分解法で生成した次亜塩素酸水」は35ppm以上で、新型コロナウイルスに有効であると公表しております。
- 有機物に酸化反応するため、優れた消臭効果があります。
- 誤飲しても、水に分解されるので健康被害はありません。
- 人の肌とほぼ同じ中性に近く(pH5.0~pH6.5)、手荒れの心配がほとんどありません。
- 直接、目に入っても影響はありません。
- 空間噴霧の安全性では、塩素ガス濃度確認試験で密閉空間内の塩素ガス濃度は最大で0.05ppmまでで、作業環境評価基準の管理濃度である0.5ppmの1/10以下であることが確認されています。
- 低濃度で残留性もなくサビにくいことから、排水設備等への影響もありません。
- 漂白トラブルもありません。

【設置事例】 小型軽量・壁掛けも可  
食堂・広間・玄関・医務室・リネン室・厨房



## 運用事例



(手洗い)

- 手荒れの心配はほとんどありません。
- 汚れがある時は、石鹼で洗って流水で洗い流して下さい。



(コップ・歯ブラシ・うがい受け・義歯・経腸栄養処理器具)

- 汚れは先に洗剤で落として下さい。
- ハイジヨキン水に浸漬(10分程度)して除菌・消臭します。  
(流水でもOK)
- すすぎはほとんど必要ありません。



(口腔衛生)

- 誤飲があっても健康被害の心配はありません。
- 多くの歯科クリニックで利用されています。



### (トイレ内・便器清掃)

- ・最も感染リスクの高いエリアです。
- ・ハイジヨキン水をたっぷり噴霧し、トイレットペーパーや除菌シート等で拭取ります。



### (空間除菌)

- ・超音波噴霧器や加湿器を使って次亜塩素酸水を噴霧します。
- ・エアロゾル以下の微粒子となって空気中の菌・ウイルスを除去します。
- ・塩素ガス濃度確認試験、反復吸入毒性試験等の各試験で安全性は確認済みです。



### (テーブル・手摺・ドアノブ)

- ・頻繁に手を触れ汚れている場所は、先に洗剤で洗浄しておくことより効果的です。
- ・スプレーボトルなどで全面に満遍な吹き付けます。
- ・数秒後に拭取るのがより効果的です。



### (入浴機器・浴室・脱衣室)

- ・除菌、カビ予防、ぬめり取り、消臭などで利用できます。



### (衣類・おしぼり・布巾・スポンジ)

- ・ハイジヨキン水を溜めて浸漬(10分程度)して除菌・消臭後、洗濯機で洗濯して下さい。
- ・漂白の心配はありません。
- ・便や嘔吐物が多く付着している時は、事前に煮沸消毒をして下さい。



### (送迎車内)

- ・汚染度が高く臭いも気になる場所です。
- ・スプレーボトルなどで全体にまんべんなく吹き付けて下さい。
- ・シートなど、漂白の心配はありません。
- ・錆の心配もほとんどありませんが、金属部分はよく拭取って下さい。



### (厨房)

- ・食材(野菜・果物)の洗浄・除菌に利用できます。
- ・食材をボールに入れ、そこにハイジヨキンⅡを一定時間流し込みます。
- ・食材はボールの中で攪拌され除菌効果が上がります。
- ・ボールからハイジヨキンⅡがオーバーフローして約2分ほど流し込みます。